

2025年3月期 第2四半期(中間期)決算

決算説明会

2024年10月29日

株式会社 トクヤマ



2025年3月期 第2四半期決算のポイント

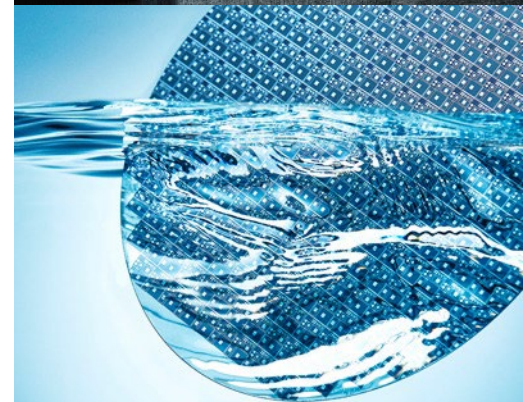
- 半導体関連製品の販売は堅調も、(株)エクセルシャノン連結除外の影響等により、売上高は対前年同期比で減収
- 石炭価格下落等による製造コスト減少により、営業利益は対前年同期比で増益
- 半導体関連製品の需要は下期以降更なる回復を見込む。
原燃料価格・為替等、先行き不透明であるものの、
計画どおりの業績推移であることから、当期業績予想は据え置き

CONTENTS

- ① 2025年3月期 第2四半期決算
- ② 2025年3月期 業績予想
- ③ トピックス
- ④ 補足資料

① 2025年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	1,661	1,655	△5	△0	エクセルシャノン連結除外
営業利益	85	139	+53	+63	製造コスト改善
経常利益	89	136	+46	+52	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 中間純利益	62	116	+54	+87	経常利益の増加 特別損益の改善*
1株当たり 中間純利益 (円)	86.56	161.81	-	-	-
為替 (円/\$)	141	153	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	64,500	77,500	-	-	-

*特別利益：サン・トックス(株)の統合による交換益、政策保有株式縮減による売却益

1. 決算概要

(億円)

	2024年3月末	2024年9月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,573	4,627	+54	現金及び預金の増加
自己資本	2,492	2,539	+46	親会社株主に帰属する 中間純利益の積み上げ
自己資本比率	54.5%	54.9%	+0.4pt	-
有利子負債	1,057	1,098	+40	社債の発行
D/Eレシオ	0.42	0.43	+0.01	-
ネットD/Eレシオ*	0.23	0.18	△0.05	-
1株当たり純資産 (円)	3,464.47	3,529.85	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

	2024年3月期 第2四半期		2025年3月期 第2四半期		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	558	52	572	52	+14	+3	+0	+0
セメント	325	22	322	36	△2	△1	+14	+63
電子先端材料	359	6	397	28	+38	+11	+22	+364
ライフサイエンス	203	41	200	38	△3	△2	△2	△6
環境事業	43	△3	19	△2	△23	△55	+0	-
その他	222	△10	192	18	△29	△13	+28	-
計	1,712	109	1,705	173	△6	△0	+64	+59
セグメント間 消去・全社費用	△51	△23	△50	△34	+0	-	△10	-
連結決算	1,661	85	1,655	139	△5	△0	+53	+63

(注1) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

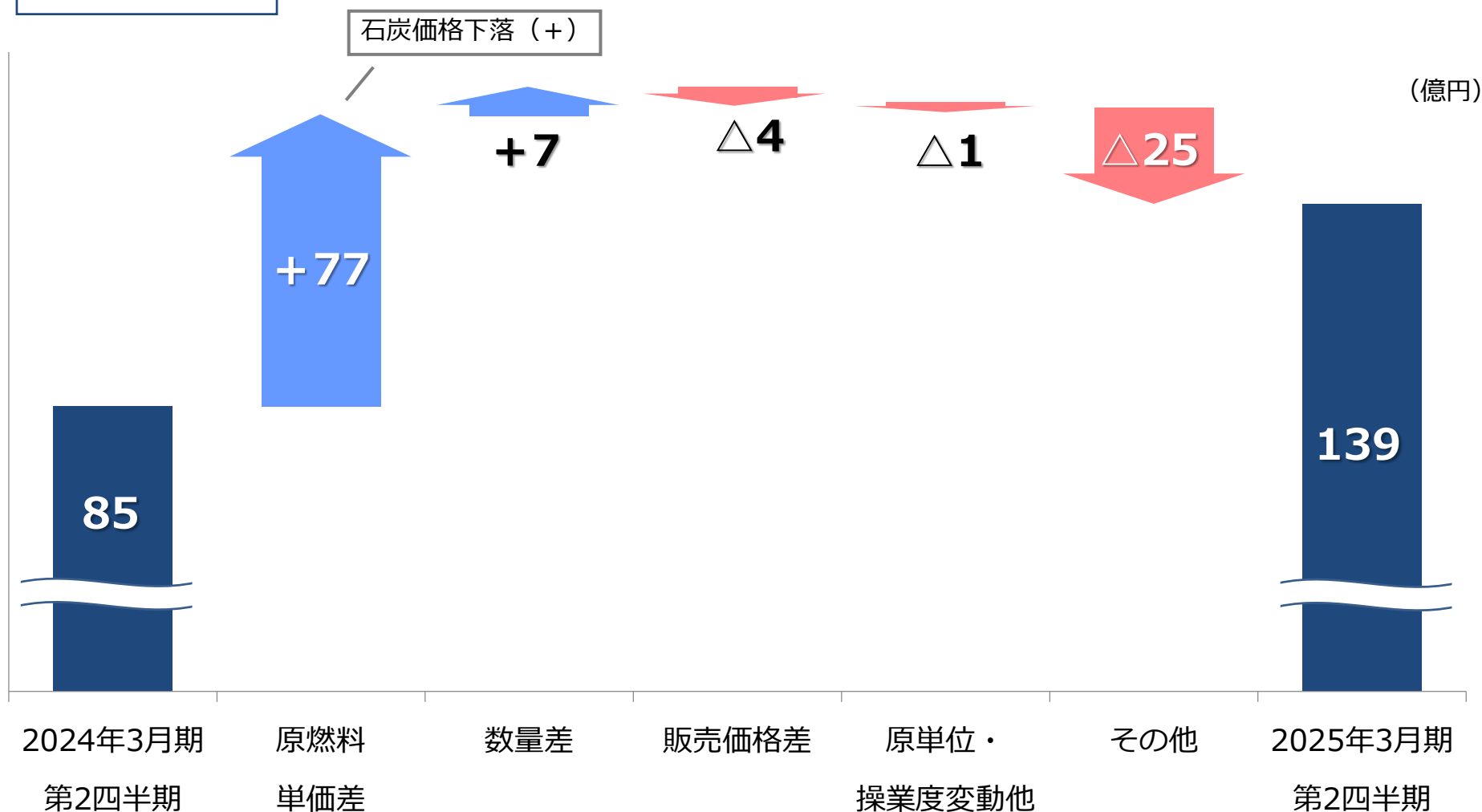
(注2) 当期・前年同期ともに報告セグメントの変更を反映した数値を記載

① 2025年3月期 第2四半期決算

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別

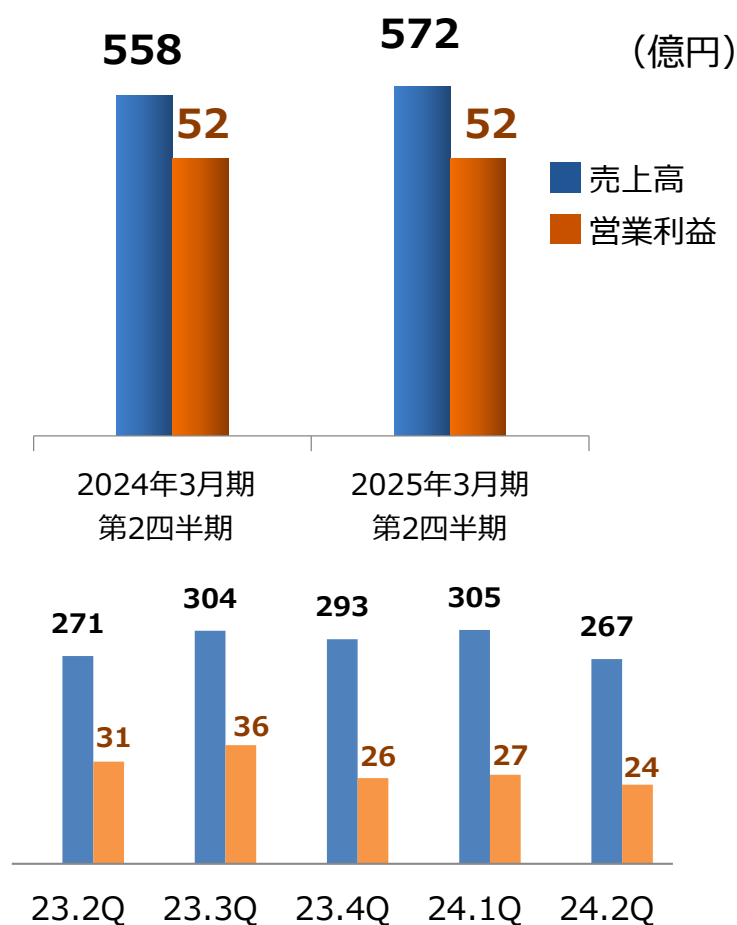


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

化成品

増収増益

定性情報



(苛性ソーダ)

- ・国内の販売数量は前年同期並みだったものの、輸出数量の増加等により増益

(塩ビモノマー・塩ビ樹脂)

- ・国内の販売数量が低調に推移したこと、及び製造コストの増加等により減益

(ソーダ灰)

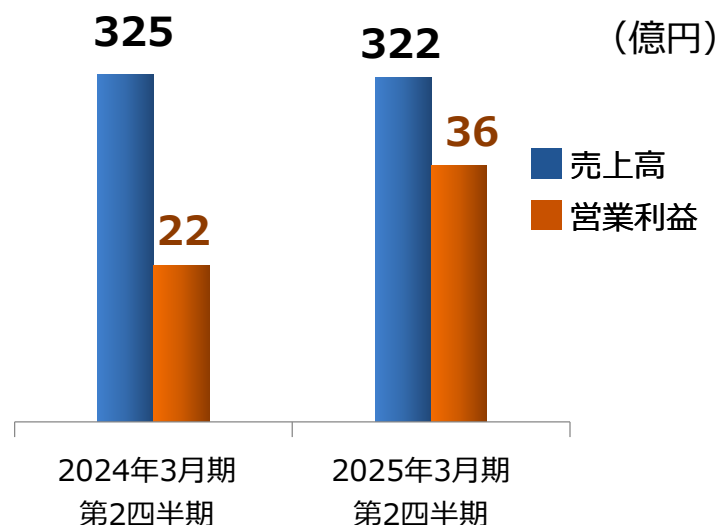
- ・販売数量が減少したこと等により減益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

セメント

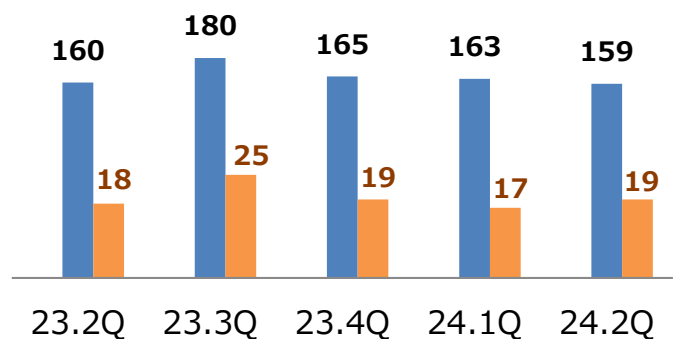
減収増益

定性情報



(セメント)

- ・国内出荷は前年同期比で微減となったものの、販売価格の維持や製造コストの改善に努めたこと等により増益

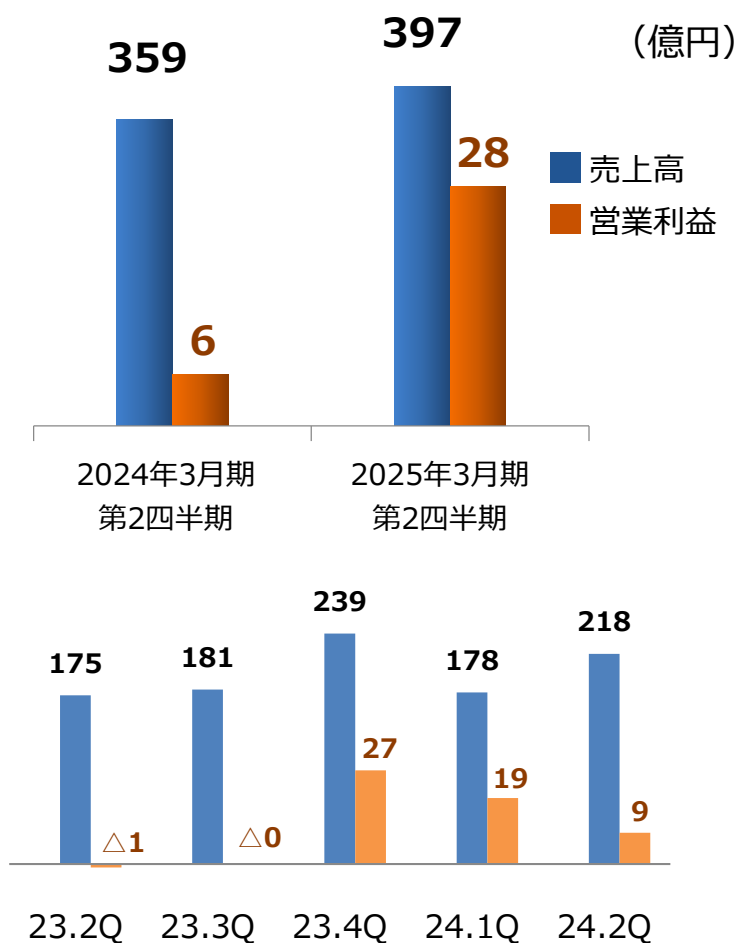


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

電子先端材料

増収増益

定性情報



(半導体向け多結晶シリコン)
・販売数量が増加したこと等により増益

(ICケミカル)
・台塑徳山精密化学股份有限公司の稼働率向上等により収益改善

(乾式シリカ)
・中国景気の低迷の継続等により販売数量は低調に推移したものの、円安による為替影響やコスト削減等により増益

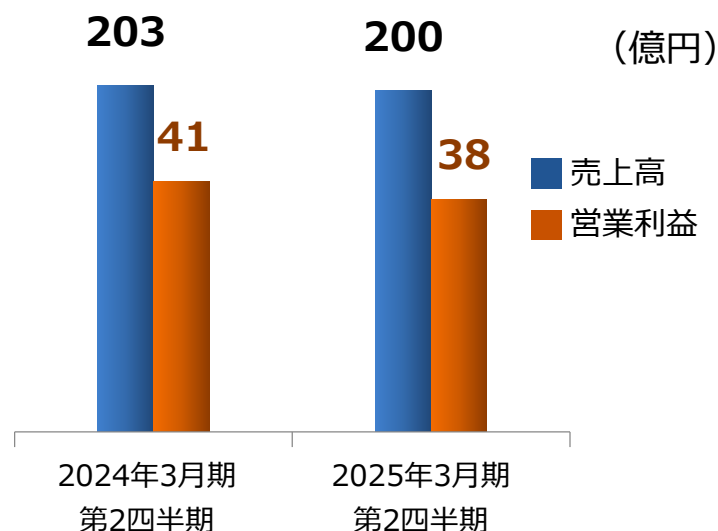
(放熱材)
・海外向けの販売数量が堅調に推移したこと等により前年同期並みの業績

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

ライフサイエンス

減収減益

定性情報



(歯科器材)

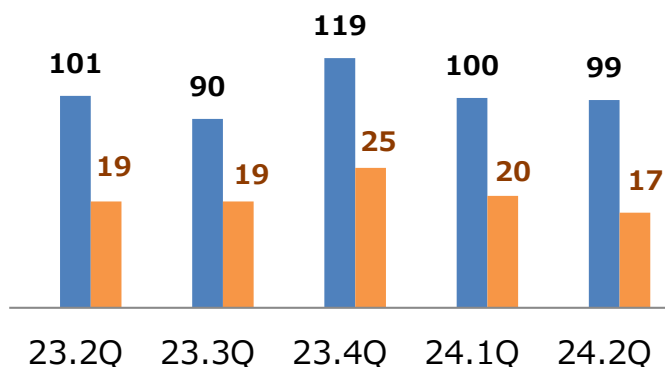
- ・海外向けの出荷が増加したこと、及び円安による為替影響等により増益

(医療診断システム)

- ・臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの販売が減少したこと等により減益

(医薬品原薬・中間体)

- ・ジェネリック医薬品向けの販売数量が減少したことにより減益

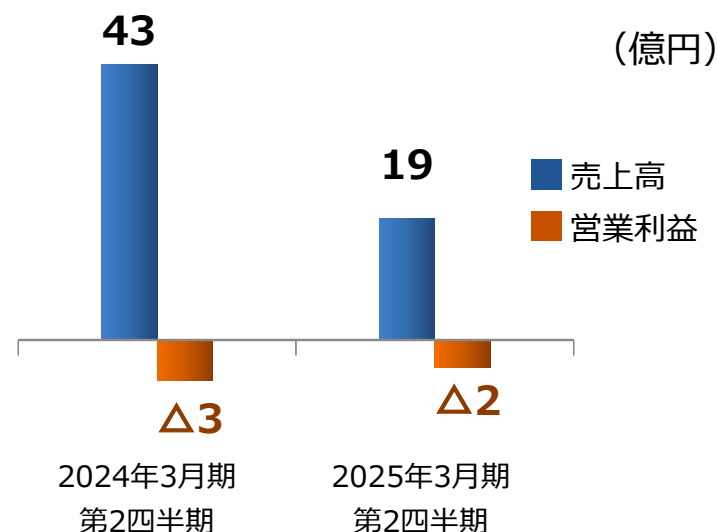


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

環境事業

減収赤字縮小

定性情報



(イオン交換膜)

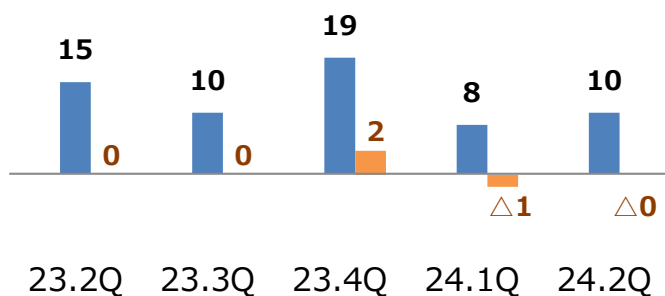
・出荷が減少したことにより減益

(廃石膏ボードリサイクル)

・廃石膏ボードの受入が堅調だったことにより
前年同期並みの業績

(樹脂サッシ)

・エクセルシャノンが持分譲渡により前2Qから連結除外



② 2025年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想
3. 株主還元



1. 業績予想

'24/4/26公表値を据え置き

(億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,419	3,520	+ 100	+ 3	半導体関連製品の販売数量増
営業利益	256	330	+73	+29	半導体関連製品の販売数量増 製造コストの改善
経常利益	262	310	+47	+18	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 当期純利益	177	250	+72	+41	経常利益の増加
1株当たり 当期純利益（円）	246.72	347.48	-	-	-
為替（円/\$）	145	上期実績：153 下期前提：145	-	-	-
国産ナフサ価格 （円/kℓ）	69,100	上期実績：77,500 下期前提：69,000	-	-	-

2. セグメント別業績予想

'24/4/26公表値を据え置き

(億円)

	2024年3月期 実績		2025年3月期 予想		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,155	115	1,200	135	+44	+4	+19	+17
セメント	671	67	670	80	△1	△0	+12	+19
電子先端材料	779	33	865	70	+85	+11	+36	+109
ライフサイエンス	414	84	430	90	+15	+4	+5	+6
環境事業	73	△1	60	0	△13	△19	+1	-
その他	436	14	410	30	△26	△6	+15	+103
計	3,532	314	3,635	405	+102	+3	+90	+28
セグメント間 消去・全社費用	△112	△57	△115	△75	△2	-	△17	-
連結決算	3,419	256	3,520	330	+100	+3	+73	+29

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 株主還元

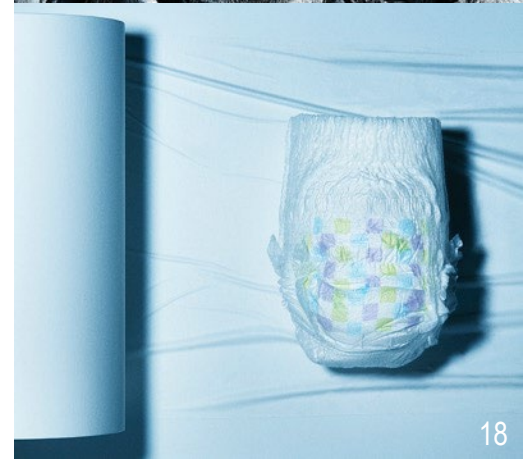
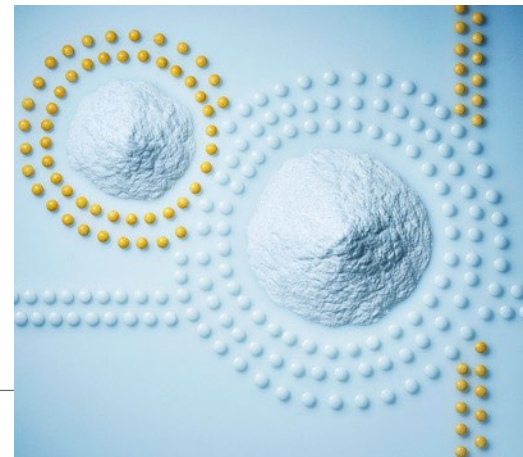
- 2025年3月期の中間配当は、予定どおり50円の配当を実施
- 期末配当も50円を予定

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
中間配当金（円）	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	50.0
期末配当金（円）	35.0	35.0	35.0	35.0	45.0	(50.0)
配当性向（％）	24.4	19.9	18.0	53.8	32.4	(28.8)

（注）（）内の数値は予想値

③ トピックス

1. 地球温暖化防止への貢献

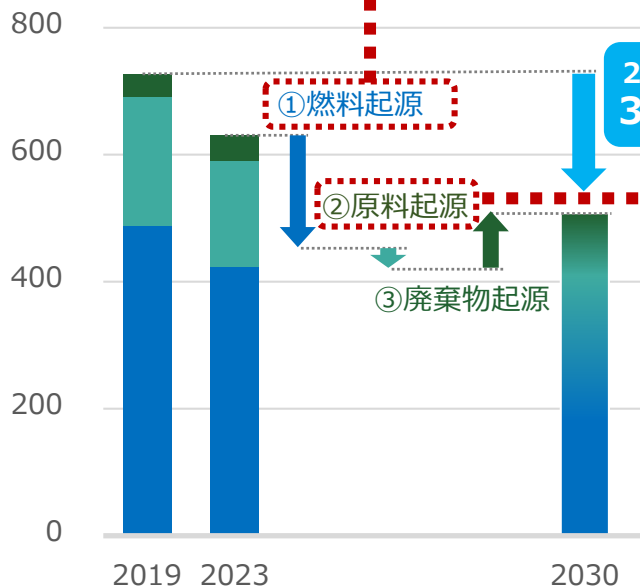


1. 地球温暖化防止への貢献

化成品事業でGHG削減に向けた取り組みを加速

GHG排出量(Scope 1、2)の
中長期削減目標

(万t-CO_{2e})



基準年度

■ 燃料起源 ■ 原料起源 ■ 廃棄物起源

・カレット製造における燃料転換

C重油・灯油から都市ガスへの燃料転換／
燃焼効率改善→CO₂排出量削減

2027年度～ 燃料転換を計画

・ソーダ灰製造プロセス低炭素化

炭酸化塔の改良
→CO₂吸収効率の改善／消費電力低減

2023年度～ パイロットプラント稼働

2028年度～ 商用プラント運転開始

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 営業外損益・特別損益・金融収支
3. 投資実績・計画
4. 業績推移
5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移
6. 有利子負債残高推移
7. キャッシュフロー推移



④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）

損 益 計 算 書

（億円）

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	差 損 益	
			金額	%
売上高	1,661	1,655	△5	△0
売上原価	1,207	1,131	+75	+6
販管費	368	384	△15	△4
営業利益	85	139	+53	+63
営業外損益	3	△3	△7	-
経常利益	89	136	+46	+52
特別損益	4	31	+27	+572
税前中間純利益	94	168	+73	+78
法人税等	33	53	△20	△63
非支配株主損益	△1	△2	+1	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	62	116	+54	+87

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）

貸 借 対 照 表

（億円）

	2024年3月末	2024年9月末	増 減	
			金額	%
資産合計	4,573	4,627	+ 54	+ 1
流動資産	2,177	2,225	+ 47	+ 2
有形固定資産	1,687	1,683	△ 4	△ 0
無形固定資産	34	40	+ 6	+ 17
投資その他の資産	673	678	+ 5	+ 1

	2024年3月末	2024年9月末	増 減	
			金額	%
負債合計	1,974	1,963	△ 10	△ 1
流動負債	1,039	841	△ 197	△ 19
固定負債	934	1,122	+ 187	+ 20
純資産合計	2,599	2,664	+ 64	+ 2

④ 補足資料

2. 営業外損益・特別損益・金融収支

(億円)

		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	4	4	+0
	その他	26	22	△4
	計	31	27	△4
営業外費用	支払利息	8	4	+4
	その他	18	26	△7
	計	27	30	△3
営業外損益		3	△ 3	△7

特 別 利 益	7	36	+29
特 別 損 失	2	4	△1
特 別 損 益	4	31	+27

金 融 収 支	△ 4	0	+4
---------	-----	---	----

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

3. 投資実績・計画

(億円)

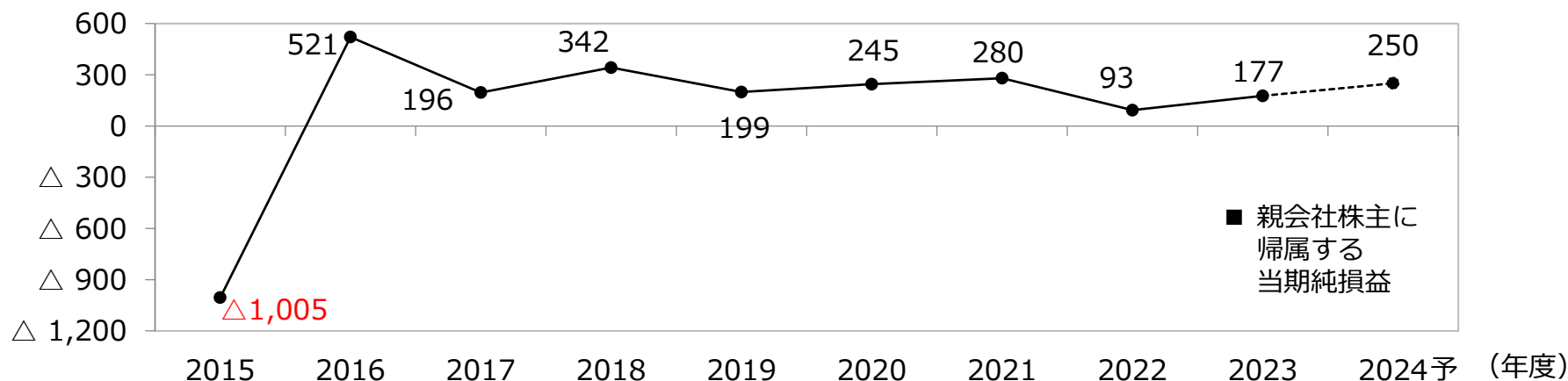
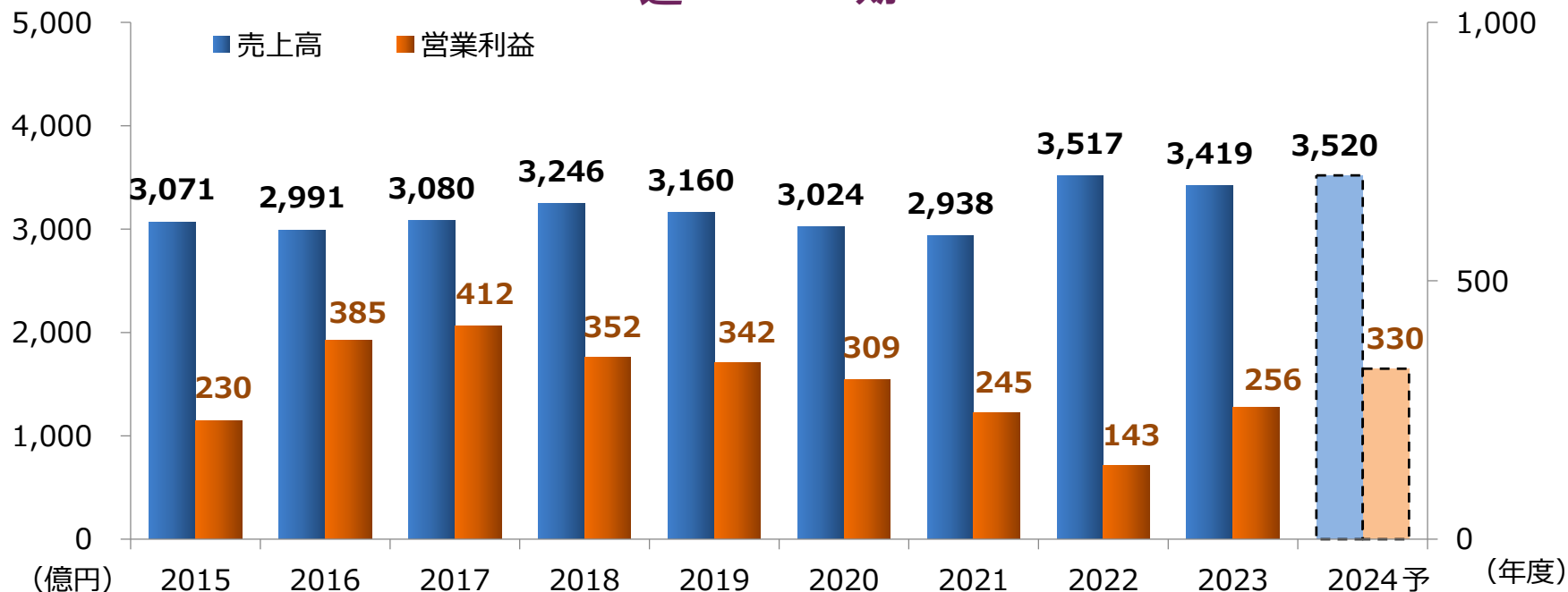
	2024年3月期		2025年3月期		増 減	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	上期	通期
設備投資額	161	297	95	295	△65	△2
減価償却費	84	176	95	200	+11	+24
研究開発費	71	144	80	170	+9	+25

4. 業績推移

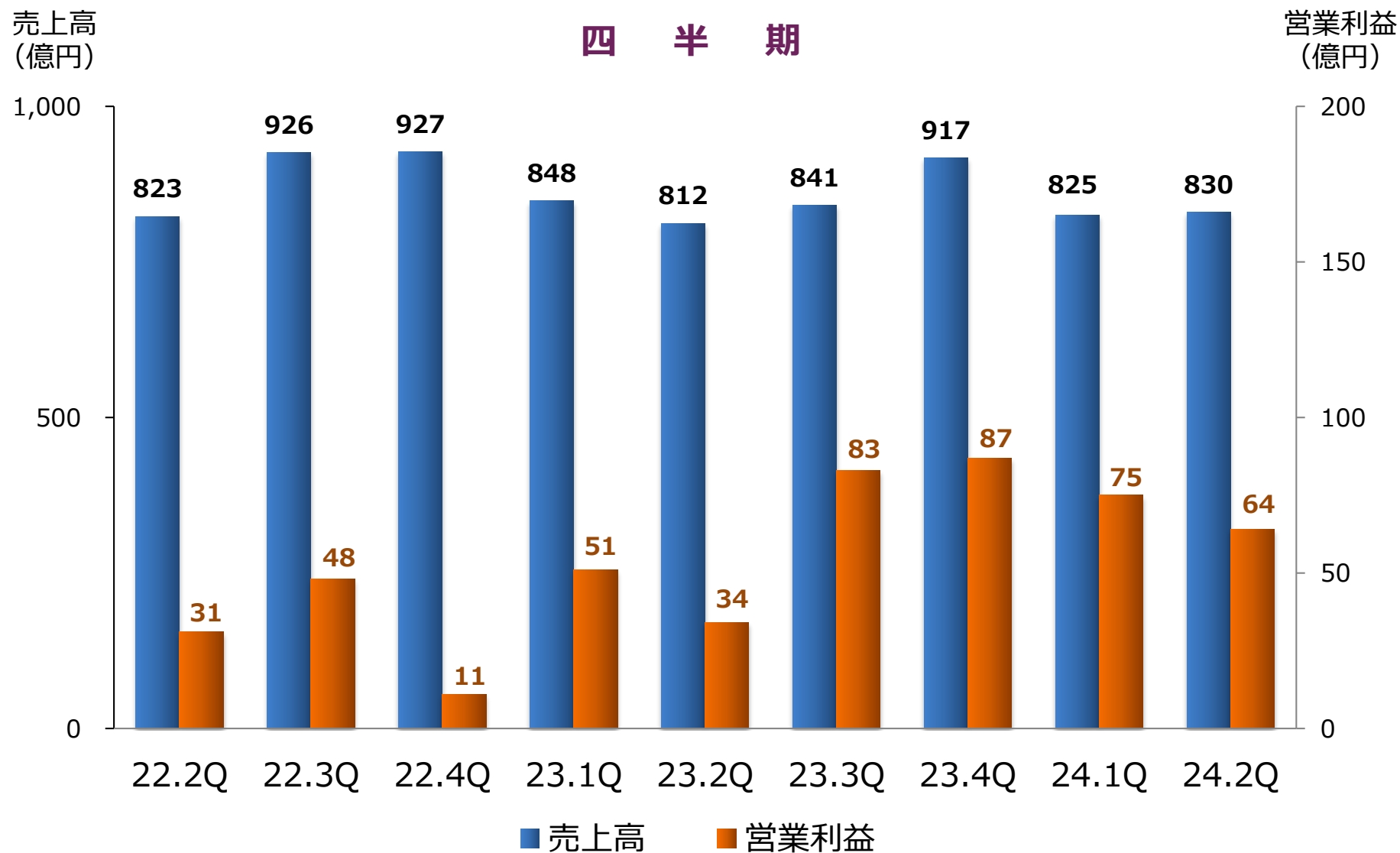
売上高 (億円)

通 期

営業利益 (億円)



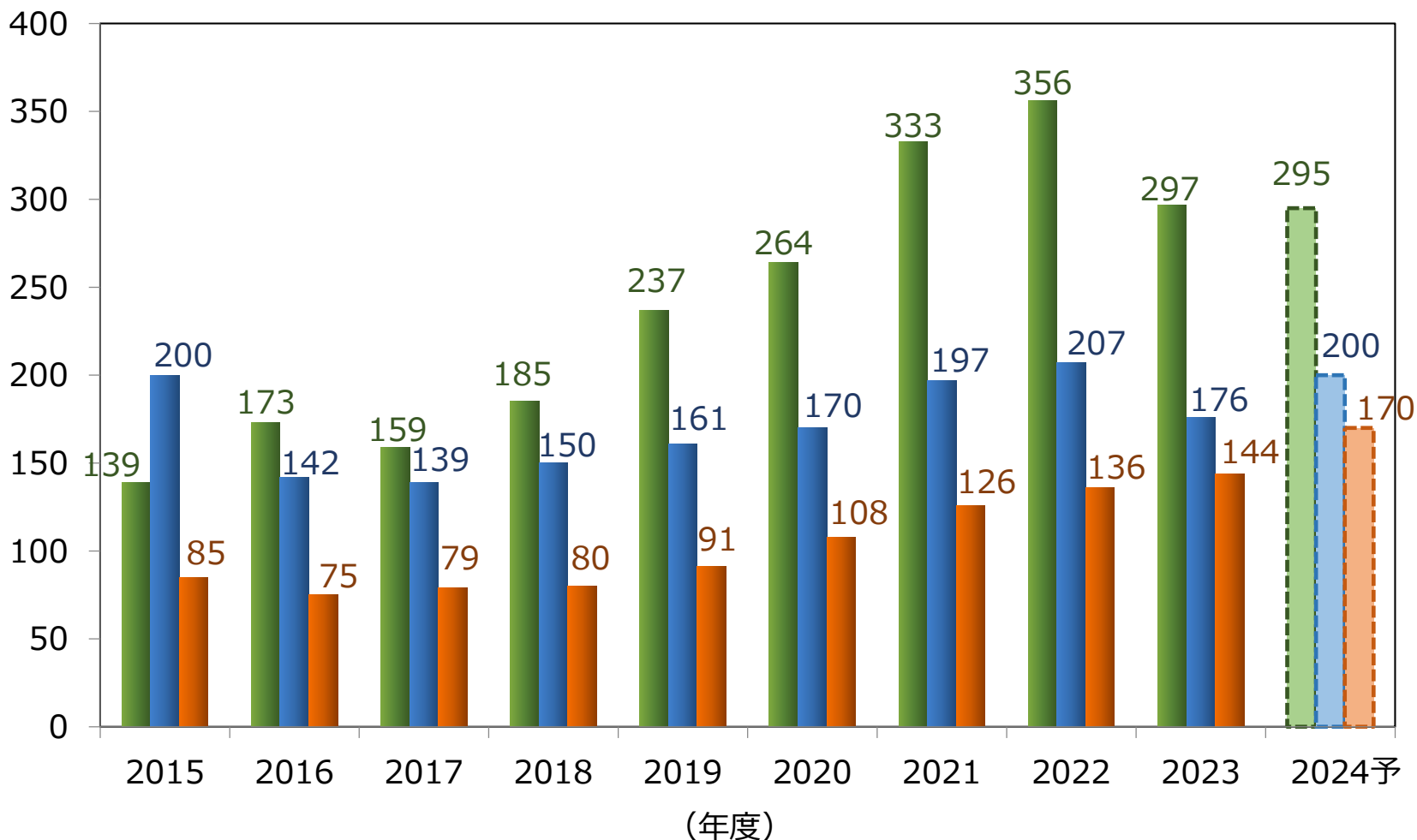
4. 業績推移



5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移

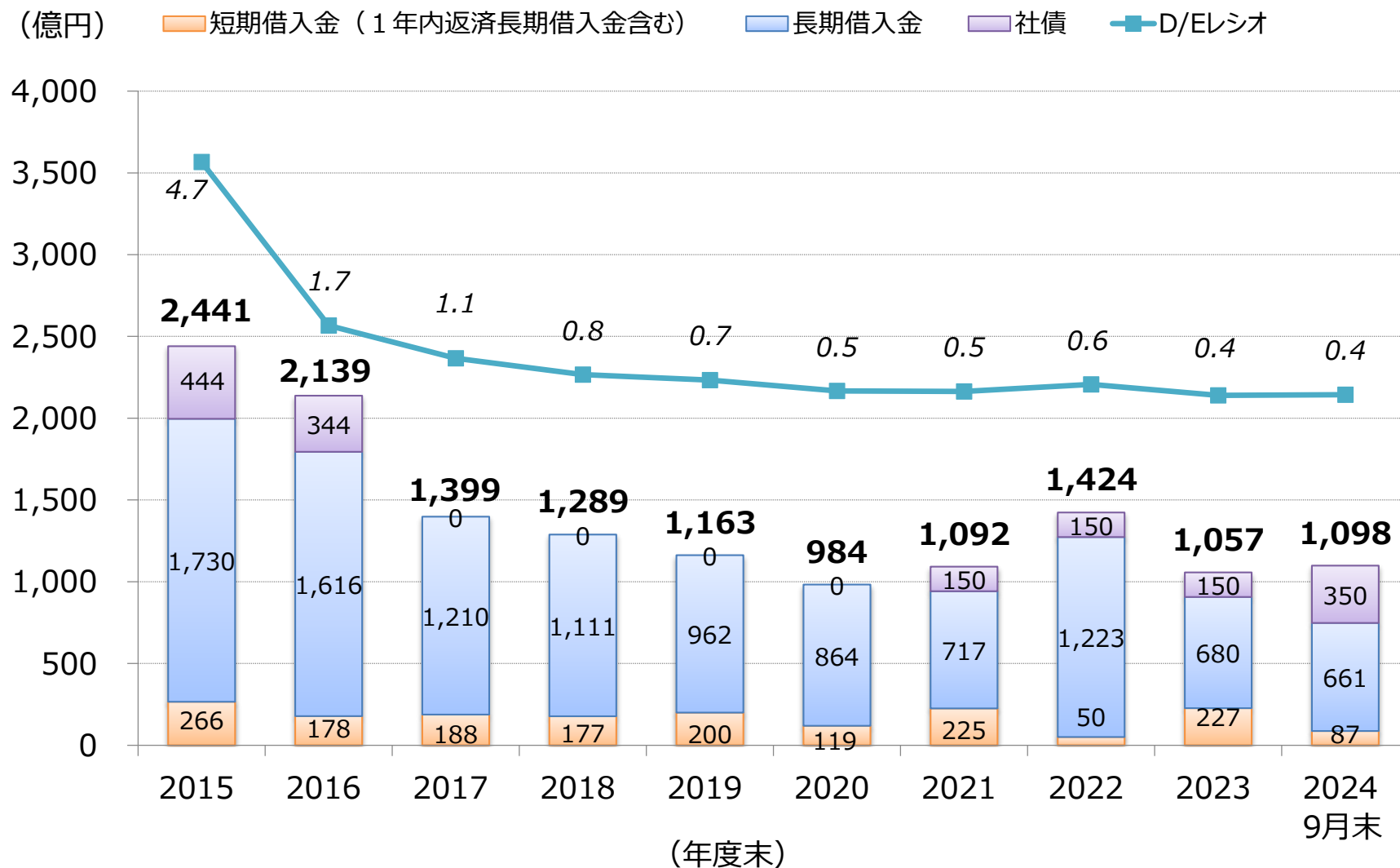
(億円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費 ■ 研究開発費

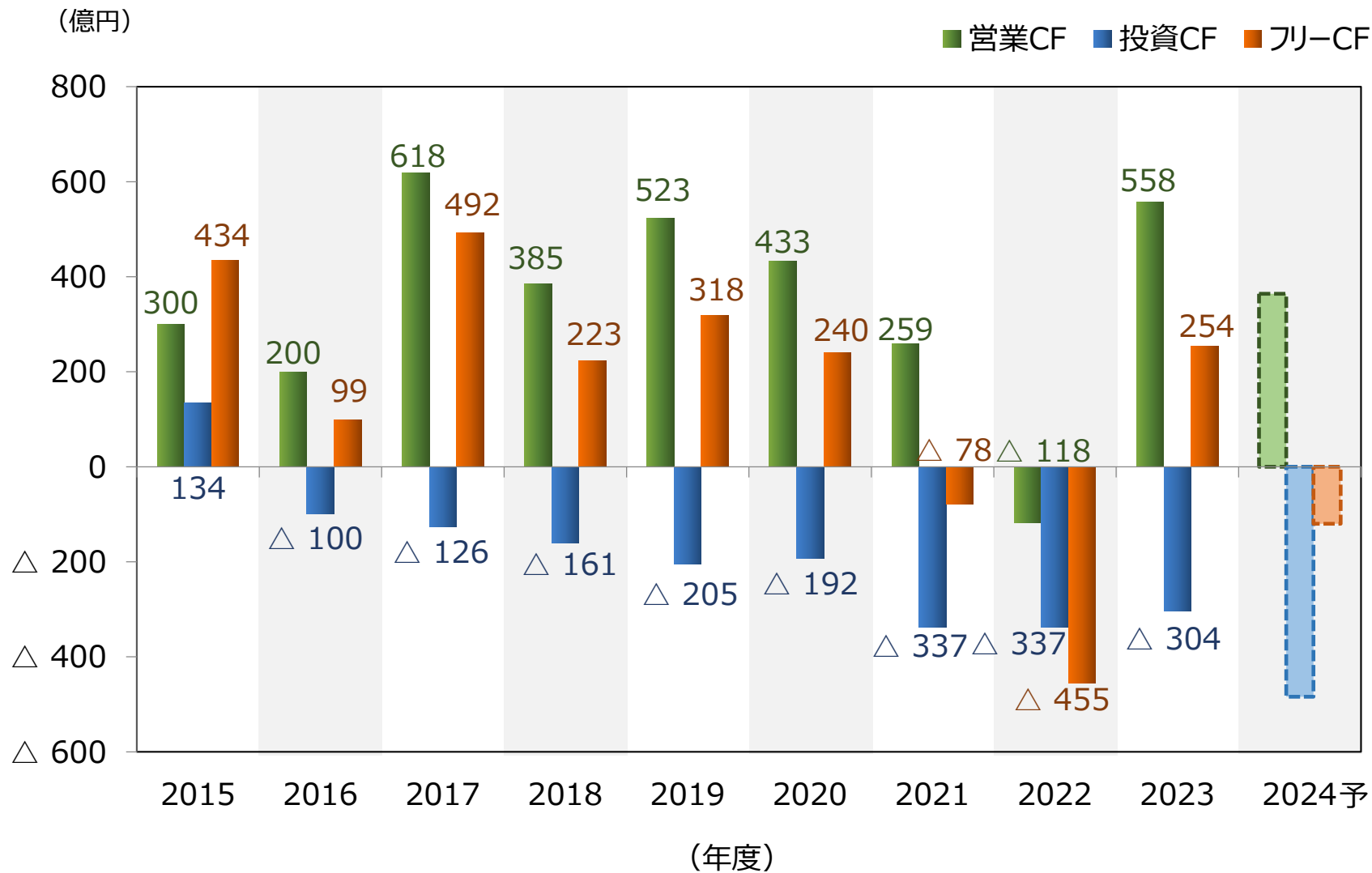


(注) 2023年度より、有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております

6. 有利子負債残高推移



7. キャッシュフロー推移



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、
何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したもので
ありますが、不確実性を含んでおり、
当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に
依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に
対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、
転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 